「プログラミング入門 CASLII」正誤表本書には下記のような誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

2016.12.27

| p. 39 図2.2 p. 48 図2.6   | 箇所                      | 誤   | 2016.12.27<br>正                                    |
|---|-------------------------|---|--|
| p. 48 図2.6 図のタイトル PRG0203のコピー手順 第 刷~第 刷 X F   |                         | 1 87  | _  |
| PROUZO200コピー手順  | p. 39 因2. 2             |   |  |
| p. 55 表2.8  - (ady, r - (adr + (x)) - r (ad   | p. 48 図2. 6             |   | PRG0203のコピー手順                                      |
| p. 64 プログラムPRG0301の17, 18. 1 SUBA SUBL 9行目 p. 65 [6行目]の説明 命令コード SRL ADDL LD   | p. 55 表2. 8             | <ul> <li>・第1刷~第3刷</li> <li>ストア命令の説明</li> <li>r ← (adr)、r ← (adr + (x))</li> <li>・第4刷~第9刷</li> <li>ストア命令の説明</li> </ul> | $adr \leftarrow (r)$ , $adr + (x) \leftarrow (r)$  |
| p. 65 [6行目]の説明  |                         |   | SUBL   |
| p. 66 図3. 2   |                         | 命令コード SRL   | ADDL   |
| p. 68 下から3行目と5行目  | p. 66 図3. 2             |   |  |
| p. 72 図3.5 表の5行目 1111 1111 1111 0110  p. 74 図3.7 この下位16ピット000016をGR4 に設定  | p. 68 図3. 3             | 主記憶の3つ目 2000  | 3000   |
| p. 72 図3. 5   1111 1111 1111 010  | p. 68 下から3行目と5行目        | ADDA  | ADDL   |
| p. 74 図3. 7 p. 76 下から4行目 値を符号でし数値とみなして 値を行号つき数値とみなして [6-8行目]の説明 13702(358G <sub>10</sub> )が… 1302(358G <sub>10</sub> )が。 1202(35G <sub>10</sub> )が。 1 | p. 72 図3. 5             | 1111 1111 1111 0101   |  |
| p. 87 18行目 [6-8行目]の説明   13702(358G <sub>1e</sub> )が…   148   |                         | に設定   | 設定   |
| p. 87 18行目  | p. 76 下から4行目            |   |  |
| p. 109 実行のようすPRG0401 (I)16行目実行後 SF, ZFの 網掛け (対は不要 P. 111 表4. 1 SUBLのオペランド r1. r2 汎用レジスタやメモリは読み書きしない。 (アL命令(算術比較命令) 学術比較 P. 114 表4. 3 学術計算 学術比較 P. 114 表4. 3 学術計算 学術比較 P. 119 表4. 4 石の表中の JNE JZE 22: LEN DS (c)9行目の実行前 (c)9行目の実行が (c)9行目の実行後 (c)9行目の実行が (c)9行目の実行後 (c)9行目の実行が (c)9行目の実行後 (c)9行目の保1の指すメモリ (c)9行目のの即の処理 保2初期化 保2初期化 保2初期化 (同上) 条件判定 GR1の値 > 0 (以~(m)行目のGR1の指すメモリ (C)で(m)行目のGR1の指すメモリ (C)で(m)行目のFRの値 (C)で(m)では (C)では (C)で(m)では (C)で(   | p. 87 18行目              |   | 13702(3586 <sub>16</sub> )が…                       |
| p. 110 条件1のよう 9 PRG0401 網掛け けば不要  | p. 101 下から13行目と14行目     |   |  |
| p. 112 最後の行   | p. 109 実行のようすPRG0401    |   |  |
| p. 112 取後の行 p. 114 上から3行目   | p. 111 表4. 1            |   |  |
| p. 114 表4.3 p. 114 表4.3 p. 114 表4.3 p. 119 表4.4 p. 120 プログラムPRG0403 p. 120 プログラムPRG0404 p. 126 図4.11右上 p. 126 図4.11右上 p. 138 図5.3 (同上) p. 138 実行のようすPRG0503 (同上) p. 141 下から5行目 p. 142 図5.9の下の文の1行目と2行目 p. 157 図6.4 p. 177、178 実行の様子PRG0605 p. 177、178 実行の様子PRG0605 p. 181 下から5行目 p. 181 下から5行目 p. 181 下から5行目 p. 201 上から3つめの処理 p. 209 上から1行目 p. 209 上から1行目 p. 177、178 実行の処理 p. 201 上から3つめの処理   |                         | きしない.   | 化しない.  |
| p. 114 表4.3         CPLのオペランド r, zdr[, x]         r, adr[, x]           p. 119 表4.4         右の表中の JNE         JZE           p. 120 プログラムPRG0403         22: LEN DC         22: LEN DS           p. 123 実行のようすPRG0404         (c) 9行目の実行前         (c) 9行目の実行後           p. 126 図4.11右上         -1と比較した場合(図4.9(b))         -1と比較した場合(図4.10(b))           p. 133 図5.3         LOOPの前の処理 GR2初期化         GR1の値 → 0           (同上)         条件判定 GR1の値 > 0         GR1の値 ≠ 0           p. 138 実行のようすPRG0503         (j) ~(m)行目のGR1の指すメモリ のRGLENは28行目で、文字 列の長さ12として定義される 長さ11として定義される をして、23行目で、文字列の長さ12として定義される をして、23行目で、マ24行目で、23行目で、24行目で、23行目で、24行   |                         |   |  |
| p. 119 表4. 4 p. 120 プログラムPRG0403 p. 123 実行のようすPRG0404 p. 126 図4. 11右上 p. 137 図5. 3 (c) 9行目の実行前 p. 138 実行のようすPRG0503 (d) 22: LEN DC p. 138 実行のようすPRG0503 (d) 27目の使足のでは、 (e) 9行目の実行後 (d) 27目の使足のでは、 (e) 9行目のを関係は、 (f) 27目のでは、 (f) 27目ののでは、 (f) 27目のでは、 (f) 27目   |                         |   |  |
| p. 120 プログラムPRG0403         22: LEN DC         22: LEN DS           p. 123 実行のようすPRG0404         (c) 9行目の実行前         (c) 9行目の実行後           p. 126 図4.11右上         −1と比較した場合(図4.9(b))         −1と比較した場合(図4.10(b))           p. 133 図5. 3         LOOPの前の処理<br>GR2初期化         削除           (同上)         条件判定 GR1の値 > 0         GR1の値 ≠ 0           p. 138 実行のようすPRG0503         (j)~(m)行目のGR1の指すメモリ         'A'           p. 141 下から5行目         ORGLENは28行目で、文字列の長さ12として定義される<br>長さ11として定義される<br>そして、23行目で、~24行目~         ORGLENは29行目で、文字列の長さ12として定義される<br>長さ11として定義される           p. 142 図5. 9の下の文の1行目と2行目         そして、22行目で、~23行目 そして、23行目で、~24行目~         へ24行目~           p. 159 プログラムPRG0602         10: CALL DISP         10: CALL DISP1           p. 173 11行目         Abcdef         abcdef           (h) 1回目の14行目実行後(j) 1回目の14行目実行後(j) 1回目の14行目実行後(j) 4回目の14行目実行後(j) 4回目の14行目実行後(k) 5回目の14行目実行後(k)   |                         |   |  |
| p. 123 実行のようすPRG0404         (c) 9行目の実行前         (c) 9行目の実行後           p. 126 図4. 11右上         −1と比較した場合(図4.9(b))         −1と比較した場合(図4.10(b))           p. 133 図5. 3         LOOPの前の処理 GR2初期化         削除           (同上)         条件判定 GR1の値>0         GR1の値≠0           p. 138 実行のようすPRG0503         (j)~(m)行目のGR1の指すメモリ         'A'           p. 141 下から5行目         ORGLENは28行目で、文字列の長さ12として定義される 長さ11として定義される 長さ11として定義される PRの値のOOD         そして、22行目で、~23行目で、~24行目~           p. 157 図6. 4         PRの値のOOD         OOOE           p. 173 11行目         Abcdef         (h) 1回目の14行目実行後(j) 1回目の14行目実行後(j) 1回目の14行目実行後(j) 1回目の14行目実行後(j) 1回目の14行目実行後(j) 4回目の14行目実行後(j) 4回目の14行目実行後(k) 5回目の14行目実行後(k) 5回目の14行目ま行法(k) 5回目の14行目実行後(k)  |                         |   |  |
| p. 126 図4.11右上       −1と比較した場合(図4.9(b))       −1と比較した場合(図4.10(b))         p. 133 図5.3       LOOPの前の処理<br>GR2初期化       削除         (同上)       条件判定 GR1の値>0       GR1の値≠0         p. 138 実行のようすPRG0503       (j)~(m)行目のGR1の指すメモリ       'A'         p. 141 下から5行目       ORGLENは28行目で、文字列の長さ12として定義される長さ11として定義される長さ11として定義される長さ11として定義される場合で、22行目で、23行目で、23行目で、23行目で、24行目で、23行目で、24行目で、23行目で、24行目で、23行目で、24行目で、23行目で、24行目で、24行目で、24行目で、24行目を持て、25行目で、24行目を表される場合で、24行目を表される場合で、24行目を表される場合で、24行目を表される場合で、24行目を表される場合で、24行目を表される場合で、24行目を表される場合で、24行目を表される場合で、24行目を表される場合では、24行目を表される場合で、24行目を表される場合で、24行目を表される場合で、24行目を表される場合で、24行目を表される場合で、24行目を表される場合で、24行目を表される場合で、24行目を表される場合で、24行目を表される。 24行目を表される場合で、24行目を表される場合で、24行目を表される。 24行目を表される。 2  |                         |   |  |
| p. 133 図5. 3  |                         |   |  |
| (同上) 条件判定 GR1の値>0 GR1の値≠0 p. 138 実行のようすPRG0503 (j)~(m)行目のGR1の指すメモリ p. 141 下から5行目 ORGLENは28行目で、文字列の長さ12として定義される 長さ11として定義される p. 142 図5. 9の下の文の1行目と2行目 そして、22行目で、~23行目 そして、23行目で、~24行目~ p. 157 図6. 4 PRの値 OOOD OOE p. 159 プログラムPRG0602 10: CALL DISP 10: CALL DISP1 abcdef p. 173 11行目 Abcdef (h)1回目の14行目実行後 (j)1回目の14行目実行後 (j)1回目の14行目実行後 (j)4回目の14行目実行後 (j)4回目の14行目実行後 (j)4回目の14行目実行後 (k)5回目の14行目実行後 (k)5回目の14行目実行後 (k)5回目の14行目実行後 (k)5回目の14行目実行後 (k)5回目の14行目実行後 (p. 201 上から3つめの処理 3016 3016 3016 3016 Javas.batを実行する.  |                         | LOOPの前の処理   |  |
| p. 138 実行のようすPRG0503(j)~(m)行目のGR1の指すメモリートA'p. 141 下から5行目ORGLENは28行目で、文字列の長さ12として定義される<br>見り、142 図5. 9の下の文の1行目と2行目<br>見り、157 図6. 4そして、22行目で、~23行目<br>そして、23行目で、~24行目~<br>〇〇〇Ep. 159 プログラムPRG060210: CALL DISP<br>日の00D10: CALL DISP<br>国内173 11行目10: CALL DISP<br>国内173 11行目p. 177、178 実行の様子PRG0605(h)1回目の14行目実行後<br>(i)1回目の14行目実行後<br>(i)1回目の14行目実行後<br>(i)1回目の14行目実行後<br>(i)1回目の14行目実行後<br>(i)1回目の14行目実行後<br>(i)1回目の14行目実行後<br>(i)1回目の14行目実行後<br>(i)1回目の14行目実行後<br>(i)1回目の14行目実行後(h)2回目の14行目実行後<br>(i)3回目の14行目実行後<br>(i)4回目の14行目実行後<br>  | (同上)                    |   | GR1の値≠0  |
| p. 141 下から5行目ORGLENは28行目で、文字<br>列の長さ12として定義される<br>そして、22行目で、へ23行目<br>そして、22行目で、~23行目<br>そして、23行目で、~24行目~<br>PRの値<br>OOOEOOOEp. 157 図6. 4PRの値<br>OOODOOOEp. 159 プログラムPRG060210: CALL DISP10: CALL DISP1p. 173 11行目Abcdefabcdefp. 177、178 実行の様子PRG0605(h)1回目の14行目実行後<br>(i)1回目の14行目実行後<br>(i)1回目の14行目実行後<br>(i)1回目の14行目実行後<br>(i)1回目の14行目実行後<br>(i)1回目の14行目実行後(i)3回目の14行目実行後<br>(i)4回目の14行目実行後<br>(i)5回目の14行目実行後p. 181 下から5行目EFFE16EFFF16p. 201 上から3つめの処理30163016p. 209 上から1行目Javasbatで実行する.Javas.batを実行する.   |                         | (j)~(m)行目のGR1の指すメモ  |  |
| p. 157 図6. 4PRの値 OOODOOOEp. 159 プログラムPRG060210: CALL DISP10: CALL DISP1p. 173 11行目Abcdefabcdefp. 177、178 実行の様子PRG0605(h) 1回目の14行目実行後 (i) 1回目の14行目実行後 (j) 1回目の14行目実行後 (j) 4回目の14行目実行後 (j) 4回目の14行目実行後 (j) 4回目の14行目実行後 (k) 5回目の14行目実行後 (k) 5回目の14行目実行後 (j) 4回目の14行目実行後 (j) 4回目の14行目実行と (j) 4回目の14行目 (j)   | p. 141 下から5行目           | ORGLENは28行目で、文字   |  |
| p. 159 プログラムPRG060210: CALL DISP10: CALL DISP1p. 173 11行目Abcdefabcdefp. 177、178 実行の様子PRG0605(h) 1回目の14行目実行後<br>(i) 1回目の14行目実行後<br>(j) 1回目の14行目実行後<br>(k) 1回目の14行目実行後<br>(k) 1回目の14行目実行後(i) 3回目の14行目実行後<br>(j) 4回目の14行目実行後<br>(k) 5回目の14行目実行後p. 181 下から5行目EFFE16EFFF16p. 201 上から3つめの処理30163016p. 209 上から1行目Javasbatで実行する.Javas.batを実行する.   |                         | そして、22行目で、~23行目   |  |
| p. 173 11行目Abcdefabcdefp. 177、178 実行の様子PRG0605(h)1回目の14行目実行後<br>(i)1回目の14行目実行後<br>(j)1回目の14行目実行後<br>(k)1回目の14行目実行後<br>(k)1回目の14行目実行後<br>(k)5回目の14行目実行後p. 181 下から5行目EFFE16EFFF16p. 201 上から3つめの処理30163016p. 209 上から1行目Javasbatで実行する.Javas.batを実行する.   | p. 157 図6. 4            |   | 000E   |
| p. 177、178 実行の様子PRG0605(h)1回目の14行目実行後<br>(i)1回目の14行目実行後<br>(j)1回目の14行目実行後<br>(k)1回目の14行目実行後<br>(k)5回目の14行目実行後p. 181 下から5行目EFFE16EFFF16p. 201 上から3つめの処理30163016p. 209 上から1行目Javasbatで実行する.Javas.batを実行する.  |                         |   |  |
| p. 177、178 実行の様子PRG0605(i) 1回目の14行目実行後<br>(j)1回目の14行目実行後<br>(k) 1回目の14行目実行後<br>(k) 5回目の14行目実行後(i) 3回目の14行目実行後<br>(j)4回目の14行目実行後p. 181 下から5行目EFFE16EFFF16p. 201 上から3つめの処理30163016p. 209 上から1行目Javasbatで実行する.Javas.batを実行する.  | p. 173 11行目             |   |  |
| p. 201 上から3つめの処理 3016 30 <sub>16</sub><br>p. 209 上から1行目 Javasbatで実行する. Javas.batを実行する.  | p. 177、178 実行の様子PRG0605 | (i)1回目の14行目実行後<br>(j)1回目の14行目実行後<br>(k)1回目の14行目実行後  | (i)3回目の14行目実行後<br>(j)4回目の14行目実行後<br>(k)5回目の14行目実行後 |
| p. 209 上から1行目 Javasbatで実行する. Javas.batを実行する.  | p. 181 下から5行目           | EFFE <sub>16</sub>  | EFFF <sub>16</sub>                                 |
| p. 209 上から1行目 Javasbatで実行する. Javas.batを実行する.  | p. 201 上から3つめの処理        | 3016  | 30 <sub>16</sub>                                   |
|   | Į.                      |   |  |
|   | p. 209 上から6行目           | Java CASLII 〈ファイル名〉   | Java CASL2 〈ファイル名〉<br>宝粉出版株式会社                     |

実教出版株式会社